



第10回上田八木・金融政策サーベイ(2017年3月)

発表日：2017年3月14日（火）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2017年3月9～13日
調査先	199先
回答率	95.4%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（3月15日～3月16日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回1月27日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	1	▲1
不変	100	99	+1
引締	0	0	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	0	▲1	+1

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月27日)	変化幅
低下	4	3	+1
不変	86	90	▲4
上昇	10	7	+3
短期金利予想DI	+6	+4	+2

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月27日)	変化幅
低下	1	3	▲2
不変	69	69	0
上昇	30	28	+2
2年国債金利予想DI	+29	+25	+4

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月27日)	変化幅
低下	3	5	▲2
不変	75	66	+9
上昇	22	29	▲7
10年国債金利予想DI	+19	+24	▲5

質問(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回1月27日)	変化幅
1. 1年未満	5%	5%	0%
2. 1年以上3年未満	64%	58%	+6%
3. 3年以上	31%	37%	▲6%